

能登半島地震の復興が始まったと聞くと、この能登地方に記録的大雨・土砂崩れ、洪水、信じられないような大災害、世界各地でも大きな天災・戦争も続く、私たちがどうすればいいの、

読書ノート

香月泰男のおもちゃ箱

香月泰男 作、谷川俊太郎 詩と作
大森忠 撮影 新潮社

香月美術館で心満たされ帰ってきた。何気なくヒコアの横の本箱を見ると、この本があった。前に行ったとき買ったのよね。

香月は、「絵はどいまで描いても満足とは言えぬが、玩具では威張りたい」と語っていた。アトリエの友くおもちゃ、子供のようによろこんで作っていた分身のような作品。

古い銅板やガラス片、板切れ、木の枝がユーモラスな男や女、子どもやフクロウ、パンキンネズミやカタツムリに変身する。写真もとてもいい。谷川俊太郎の詩にうなづきながらページを開く。

「動物園に行く / 象は自分が犬より
おもしろい / 思っていない / ホンキンは
自分が飛べないのを嘆かない /
ヒトだけだ / 不平に不満に不幸 /
自分を不の字で飾りたてるのは /
たが生きとし生けるものの / それぞれの姿が
それぞれに美しいと / 知っている人は / 畏れ
とともに / 喜びとともに / 神のわざを
真似る /

10/7 赤いカエデ、黄色いホトトギス、ナカドの赤い実、青空に広がる紅葉の木々。美しい。娘のかが家のまわりを歩いてスマホでフィンランドの秋を見せくれました。

赤い小さな花
ミズヒキソウ
好きな花
うっせえと増えて困る

鶏ムネ肉のヒコカタ

突然思い出した料理、姉時代、親いおつき合いの城山画廊のおばさんに教えて、夕飯をこしらうになった。

- ヒコカタ肉 半分に切って / 1cmくらいに / ざざ切り / 一口大に
- ホウルに卵1コ 溶き肉を入れおろす。
- フライパン熱して油をひき、肉を焼く。両面に焼き色をつける。マヨネーズと / まじりこ!
- 皿にのせ、ケチャップを少しのせるとおいしい。お弁当によく作りました

9/24 美味しい手作りおはがき
アピカ70 今年もうらの奥さんか / あんまり好き〜 届けてくれました。

9/26 母の兄嫁、節子おばさんが帰らぬ人。ほんとにほんとにいいおばさん。話したいこといっぱいあります。あのたくあん、もう一度食いたい〜。

9/30 自転車で日本一周
なじみの自転車店エサキさんで / 素敵な青年に会った。
日本一周中、北海道はじめ四国も終わって次は九州。テント、自転車道具などがコンパクトに自転車に。笑顔が楽しいおはなし。私も元気が出た。島根の人。よい旅を！ 気を付けて！

けやき通信 2024. 10月 No. 371

— 錦織佳代子 —

9/23 GORI
今からス万美術館へ行く？
朝9時半ころ2階の掃除をして降りてきたら
いいよ。お天気もいいし。
10分後出発。
ス万高原町まで車で約2時間

町立ス万美術館 久万美の原点 洲之内徹展

ことし、ス万美術館開館35周年。「山林王」といわれた井部栄治(いけよしはる)のコレクションが町にそっくり寄贈されて生まれた美術館。作品の多くは美術評論家須之内徹(ねうちとほる)が経営する現代画廊から購入されている。このたび現代画廊ゆかりの作品約70点が一括してス万美に寄贈された記念の展覧会。

展示された絵には、それぞれ洲之内のコメントが添えてあり、家に飾りたい絵もいくつか。心がほんわりしてくる。やっぱり美術館はいいな〜。池内紀著「とっておき美術館」に、この美術館も書かれている。「中に入ったとたん、もつと驚く。この山深い里の小さな美術館に、近代絵画の秀作がズラリと揃っていたのだ……この町立美術館は、蔵している名作とともに、その存在自体が一つのすぐれた作品である。」